

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	多種ナッツ類アレルゲン同時負荷試験に関する後ろ向き研究 Simultaneous Multi-Allergen Retrospective Testing for Nuts (SMART-Nut) 試験		
1. 研究の目的と方法	木の実類・ピーナッツアレルギーは本邦で増加している疾患で、少量の摂取でも重い症状（アナフィラキシー）を起こし得ます。診断には食物負荷試験（入院の上で少量を摂取し、症状の有無を確認する試験）が参考になりますが、複数の木の実類・ピーナッツを別々に確認すると患者さんの負担が大きくなるという問題があります。複数の木の実類・ピーナッツを同時に負荷する多種ナッツ類アレルゲン同時負荷試験は、この問題の解決につながり、海外の一部ではプロトコル（試験の進め方の決まり）が提示されています。一方で、安全性や実行可能性に関するデータは十分ではありません。 当院では十分な観察のもとで、多種ナッツ類アレルゲン同時負荷試験を実施してきました。本研究では、過去に試験を実施した患者さんの診療録（血液検査結果や負荷試験の記録等）から情報を収集し、多種ナッツ類アレルゲン同時負荷試験の安全性および実行可能性を検討します。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2027年6月30日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	2018年10月1日から2026年1月31日までに東京慈恵会医科大学葛飾医療センター小児科を受診した18歳未満の患者さんのうち、当院に入院して複数の木の実類・ピーナッツの同時負荷試験を実施された方を対象とします。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	年齢・性別などの基本情報、アレルギーの症状歴、血液検査の結果、食物負荷試験（木の実類・ピーナッツを少量食べて症状が出るかどうかを確認する検査）の結果（症状の有無や内容、治療の記録など）	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学葛飾医療センター
		氏名	水越 淳
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
(3) 当施設の 試料・情報の	(1)の研究責任者と同じ		

	管理責任者	
	(4) 共同で研究を実施する施設とその責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて		この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2026年4月頃～
【問い合わせ先】		機関名：東京慈恵会医科大学葛飾医療センター小児科 研究責任者：レジデント 水越 淳（みずこし ただし） 電話番号：0570-009-119（内線：9226） 対応時間：平日9：00～17：00

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。